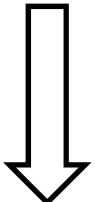
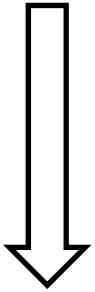


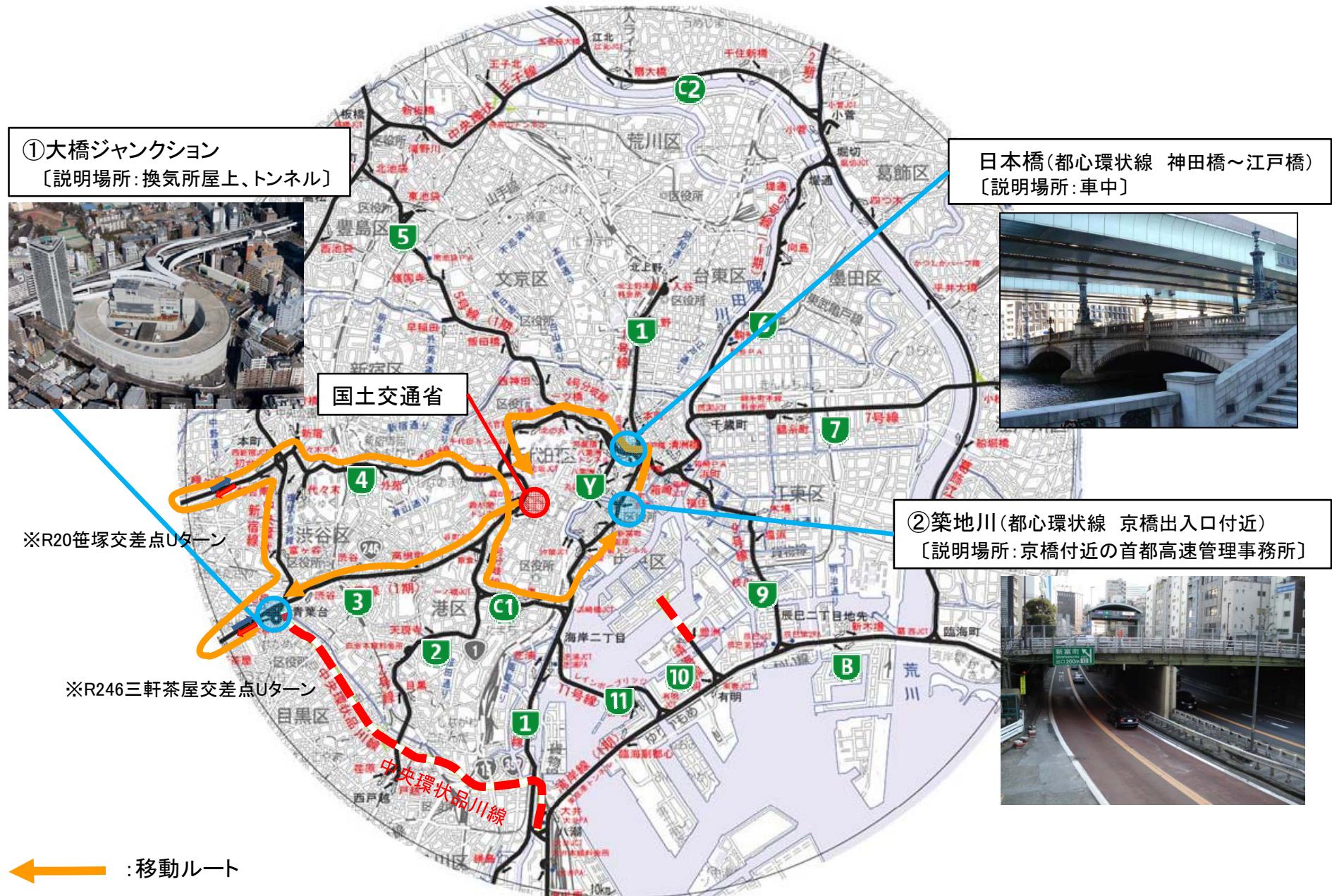
第2回
首都高速の再生に関する有識者会議
現地視察資料

平成24年5月9日

現地視察スケジュール(予定)

10:00	国土交通省発
(10分)	
10:10	大橋ジャンクション着
(55分)	大橋ジャンクション 換気所屋上、トンネル視察 <説明内容> <ul style="list-style-type: none">・大橋JCT構造、都市再開発との連携・品川線シールドトンネル工事
11:05	大橋ジャンクション発
(40分)	
11:45	築地川着
(10分)	築地川京橋出入口付近視察 <説明内容> <ul style="list-style-type: none">・築地川周辺の地域状況
11:55	築地川発
(5分)	
12:00	日本橋 通過 <説明内容> <ul style="list-style-type: none">・日本橋上の首都高速の整備状況
(10分)	
12:10	国土交通省着

首都高速の再生に関する有識者会議 現地視察行程



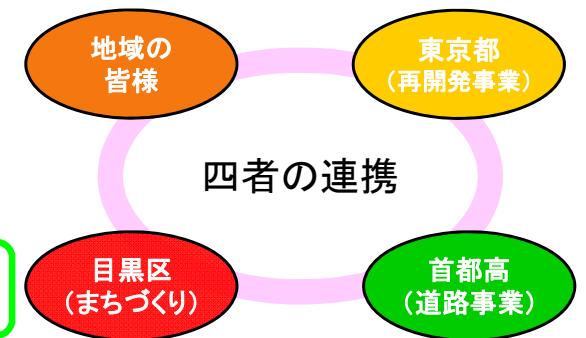
首都圏の高速道路ネットワーク



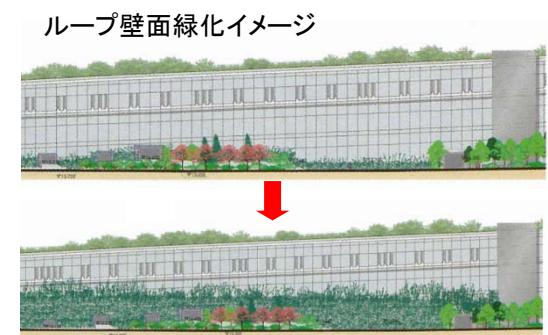
まちづくりと一体化した大橋ジャンクション



■道路事業協働型再開発事業

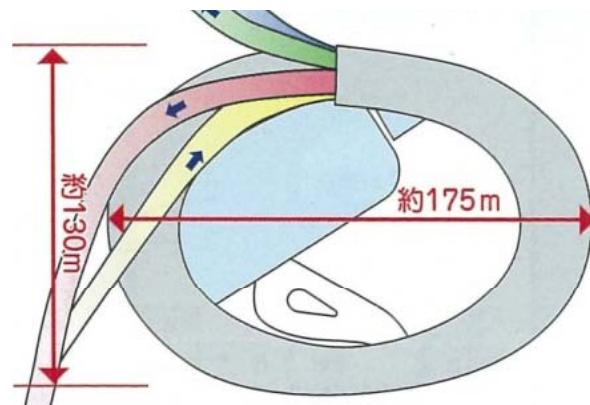


再開発区域 約38,000m²

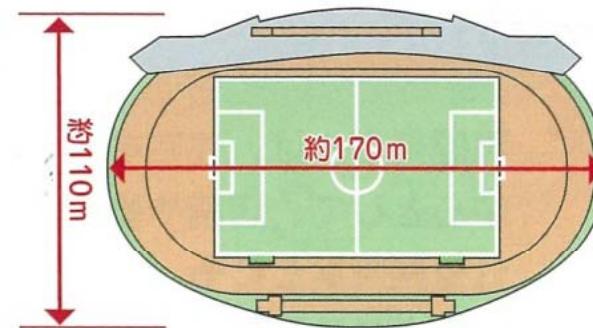


大橋ジャンクションの大きさ

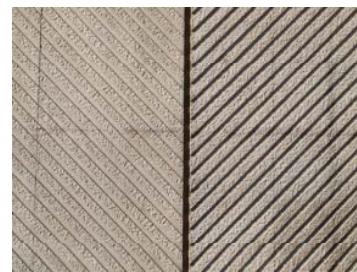
【大橋ジャンクション】



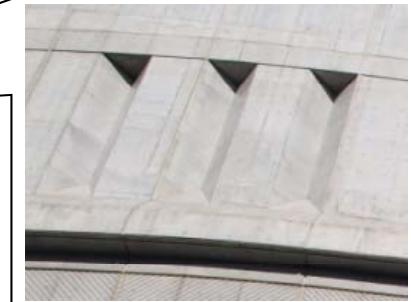
【国立競技場】



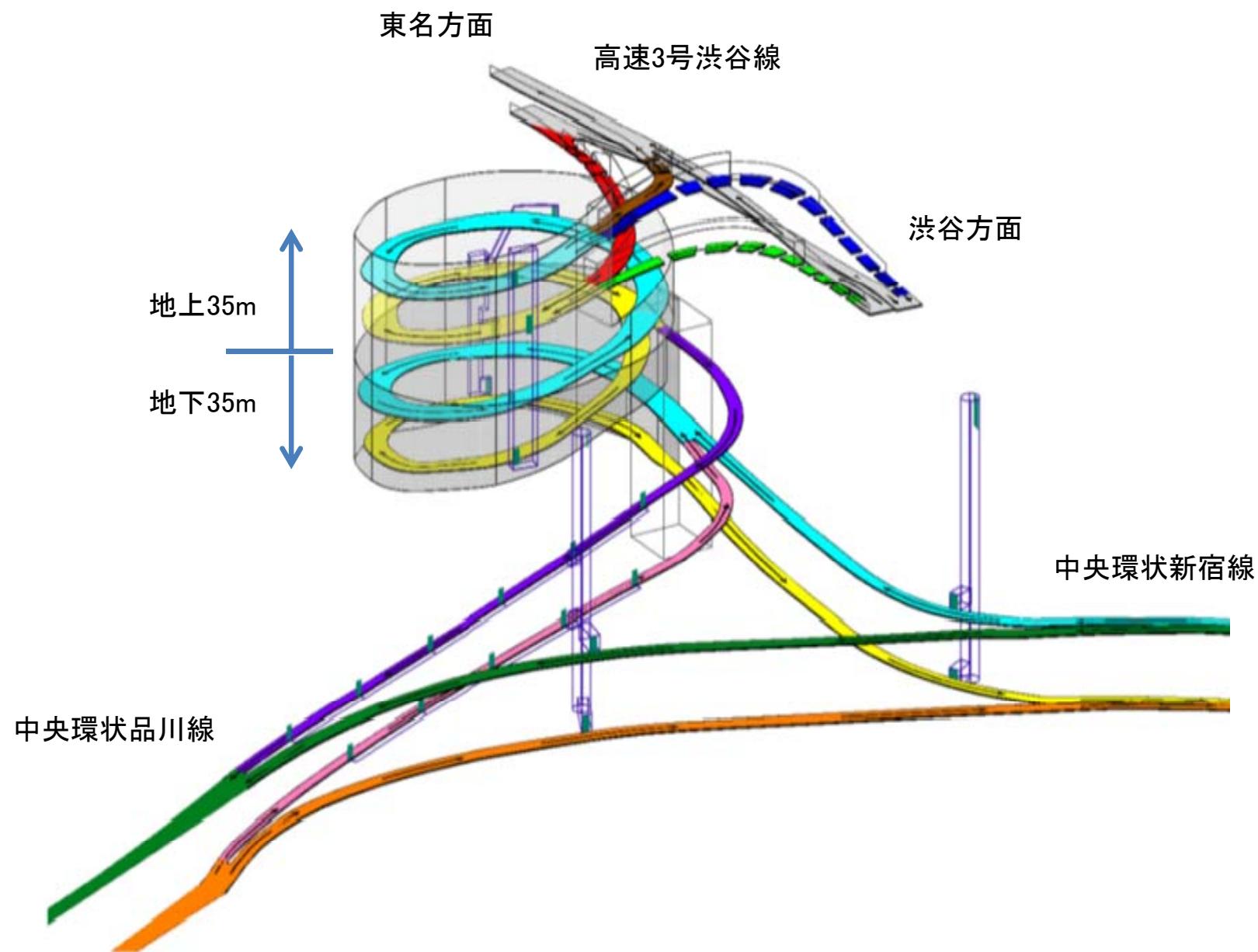
スリット



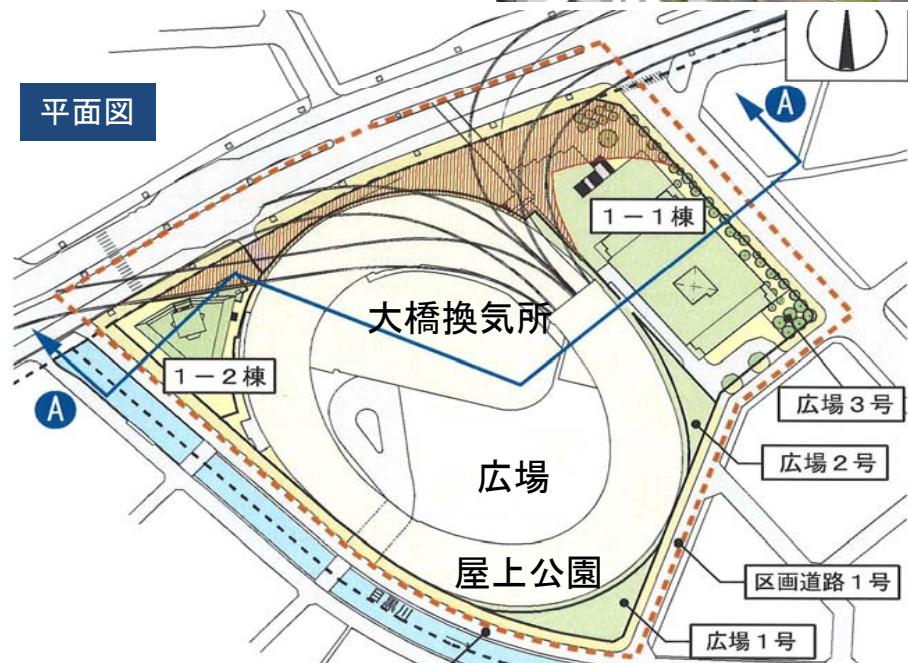
擬似窓



大橋ジャンクションの構造



大橋地区再開発事業について



凡例

市街地再開発事業の区域
町丁境

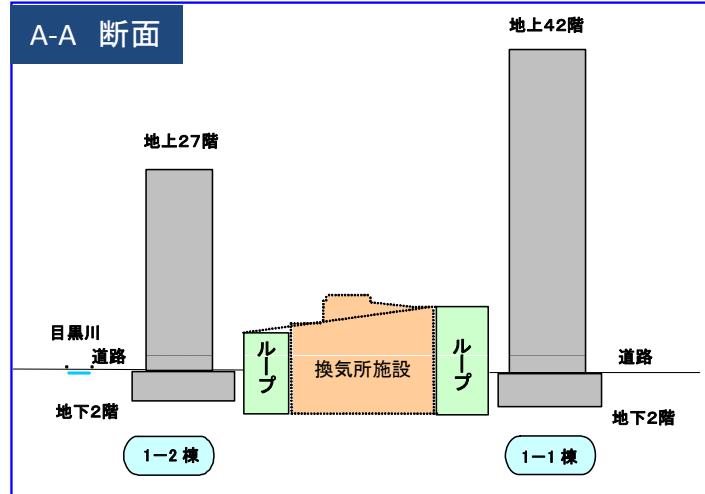
1-1棟(クロスエアタワー)の概要

階数 地上42階/地下2階
高さ 約155m
敷地面積 約7,200m²
建築面積 約3,790m²(建ぺい率約50%)
延べ面積 約83,590m²(容積率約800%)
住宅戸数 約690戸

1-2棟(プリズムタワー)の概要

階数 地上27階/地下2階
高さ 約100m
敷地面積 約1,720m²
建築面積 約850m²(建ぺい率約50%)
延べ面積 約18,380m²(容積率約800%)
住宅戸数 約210戸

A-A 断面

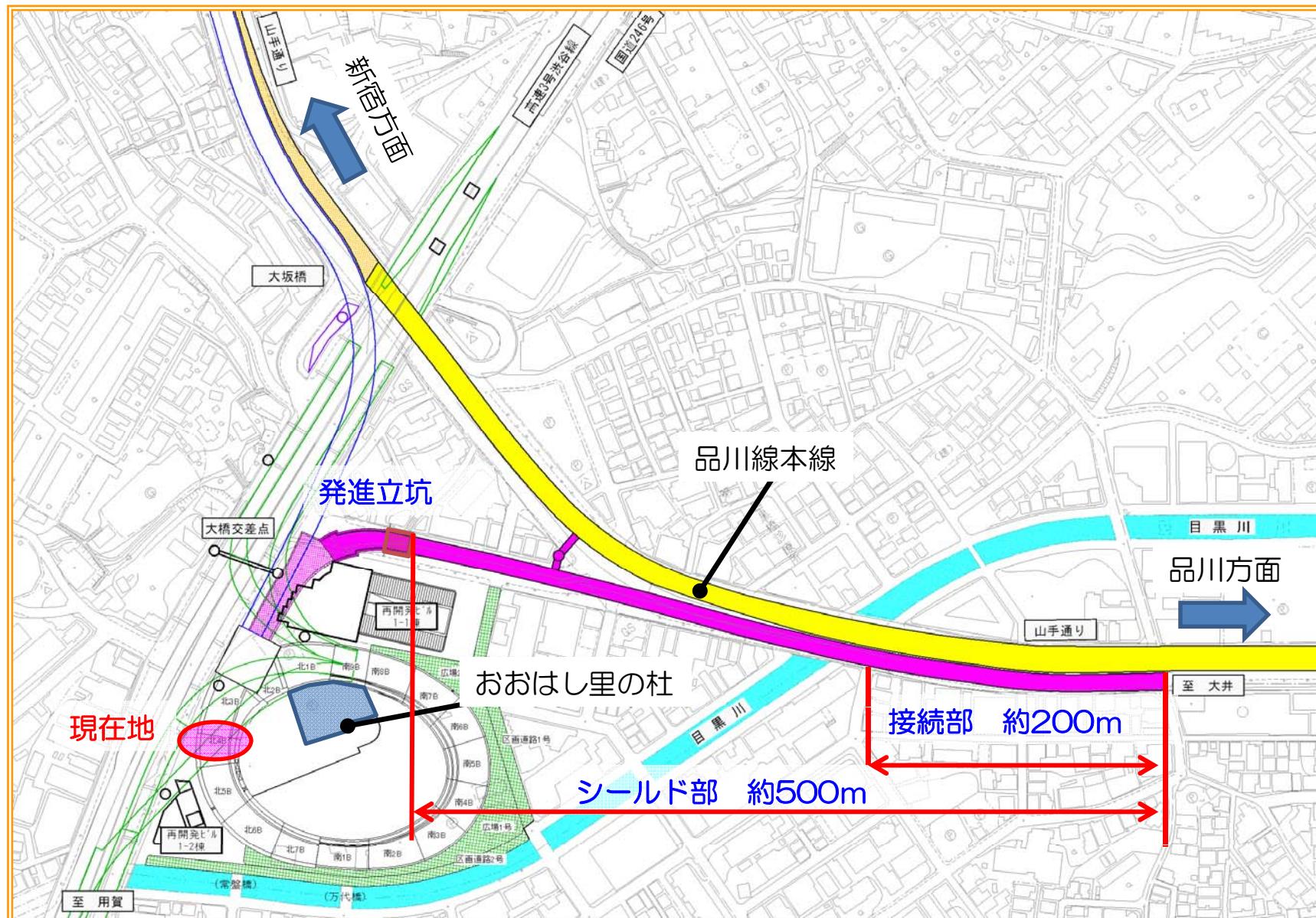


大橋自然再生緑地「おおはし里の杜」

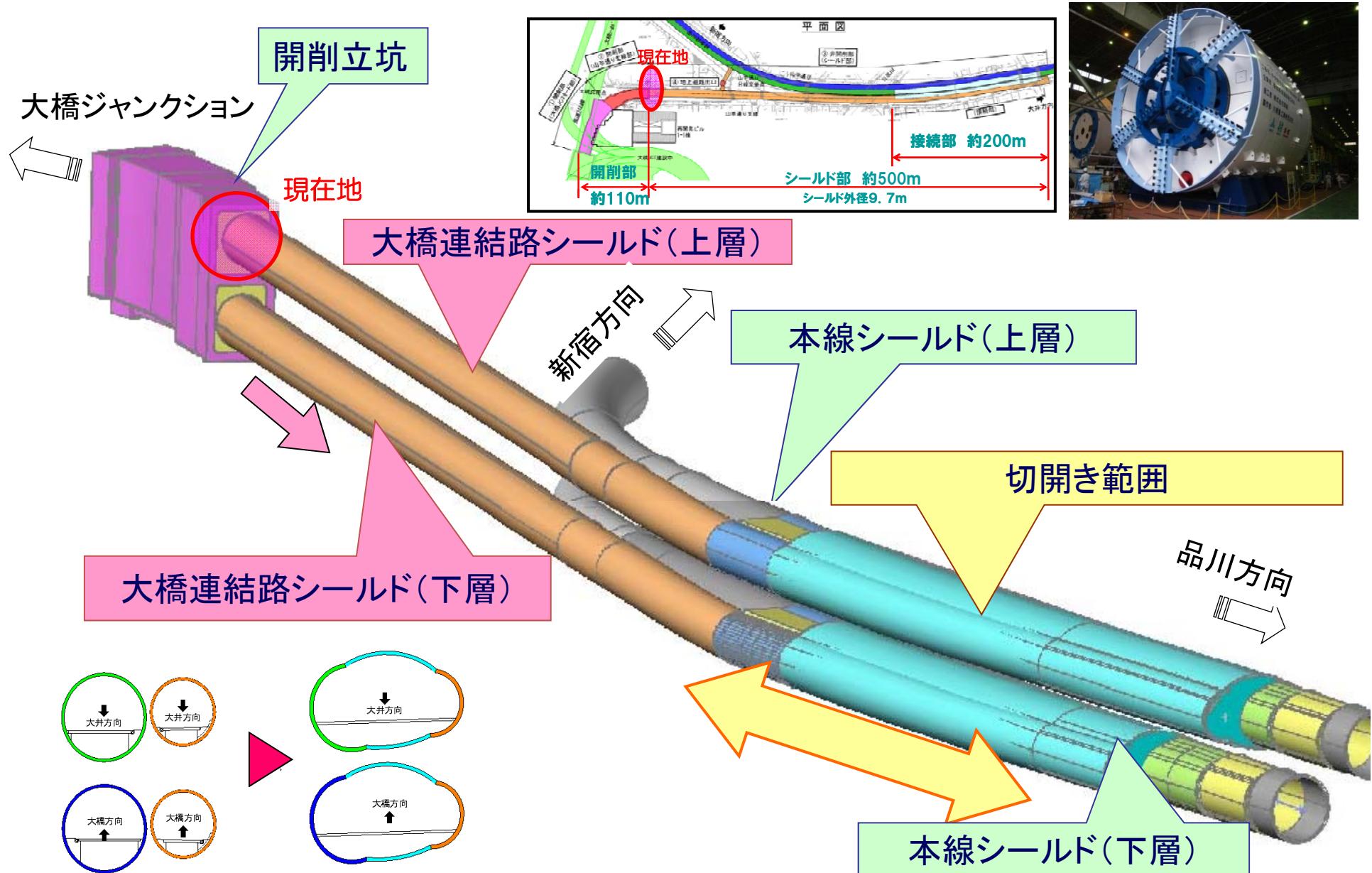


昭和初期の目黒付近の里の風景（斜面林や小川、池、田んぼ）を再現。
約1,100m²のその面積のうち、2面ある田んぼは約100m²。
米俵1俵のお米が収穫できるくらいの広さ。
地元小学生による田植え、稲刈り、脱穀などの稲作体験を実施。

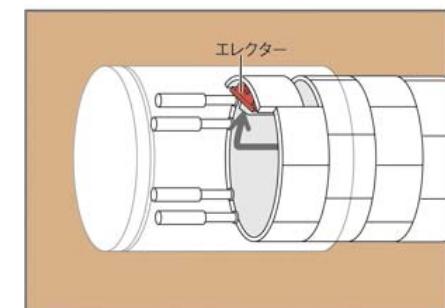
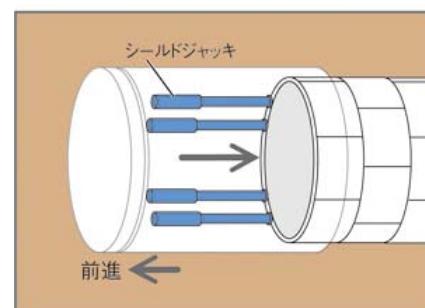
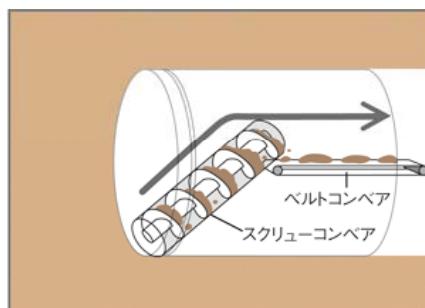
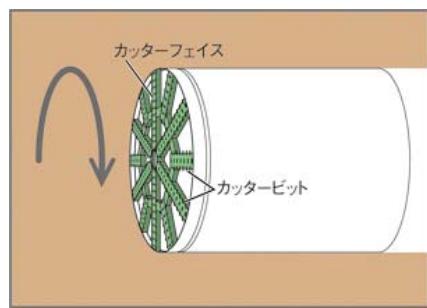
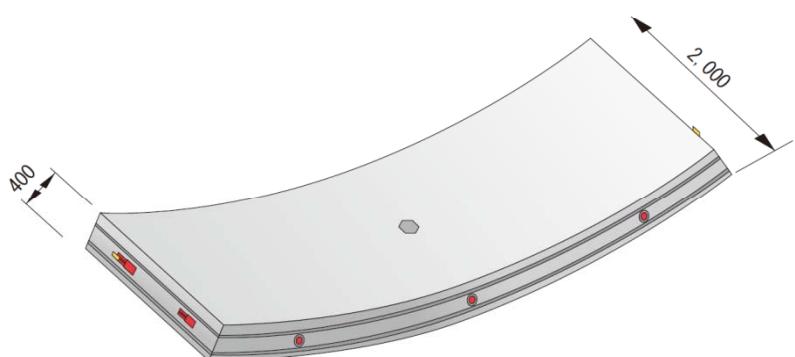
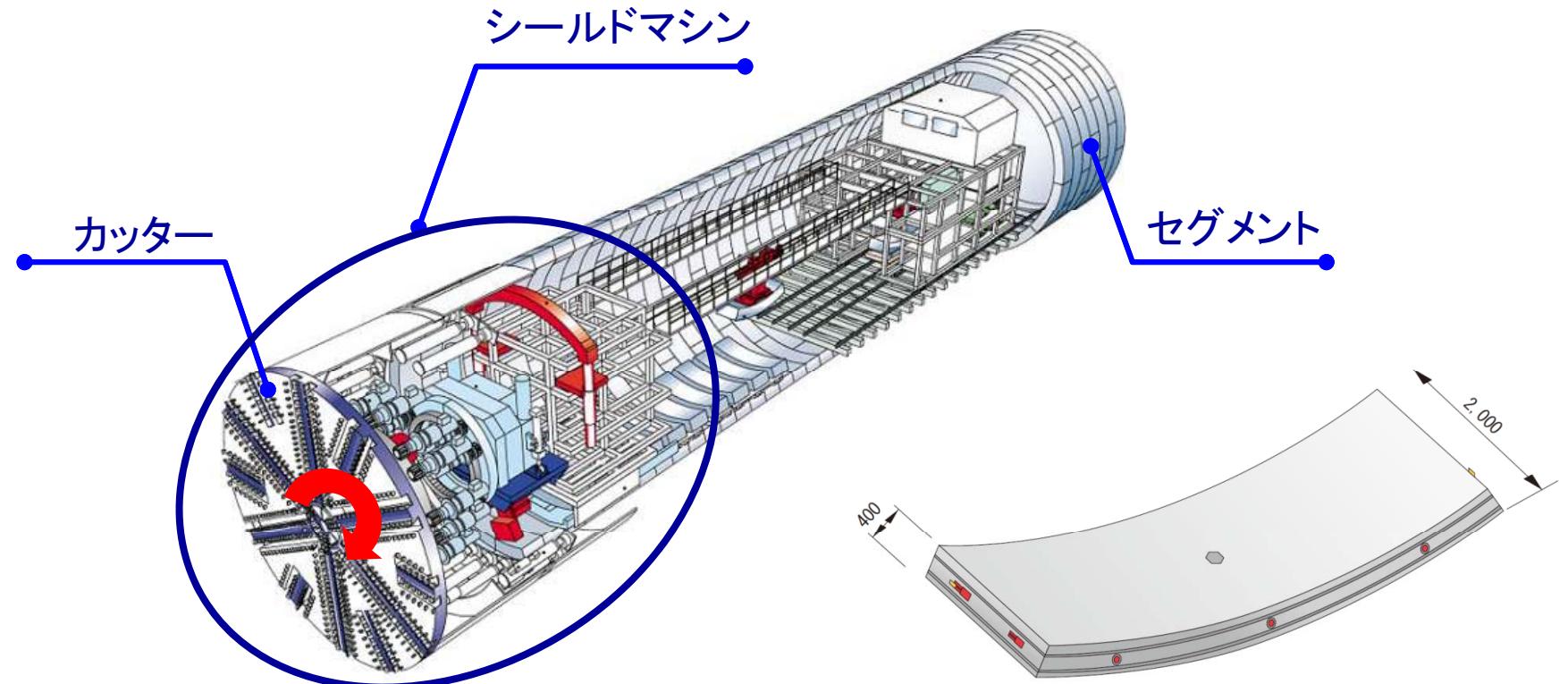
トンネル現場視察箇所位置図



トンネル現場視察箇所位置図



シールド工法について



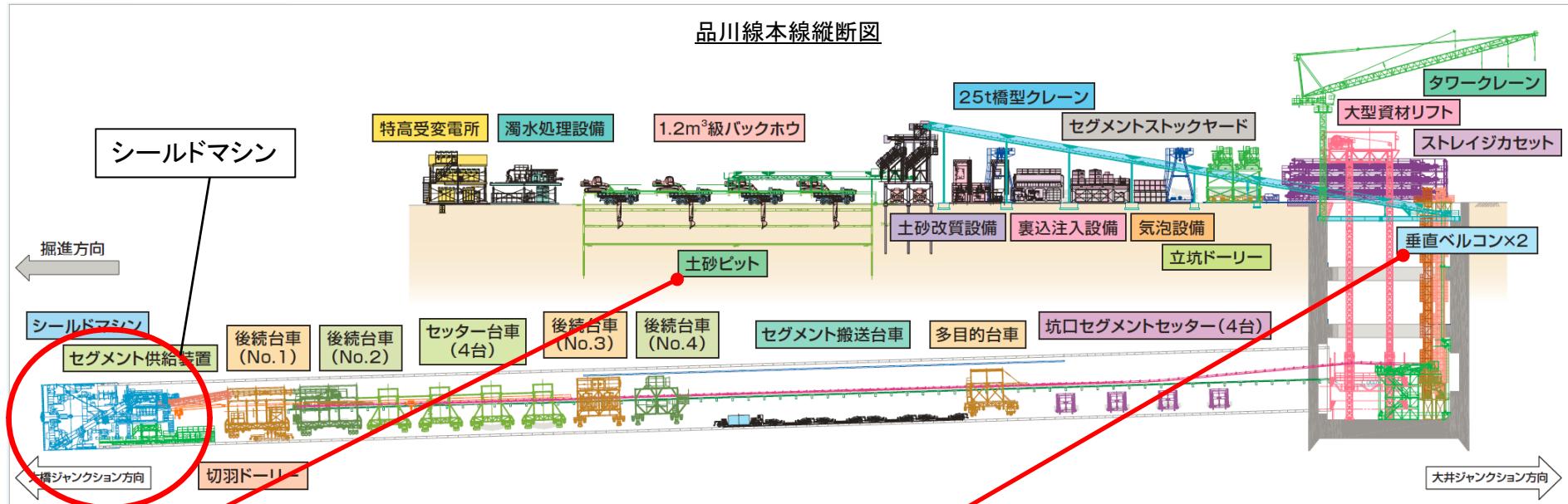
掘削

土砂排出

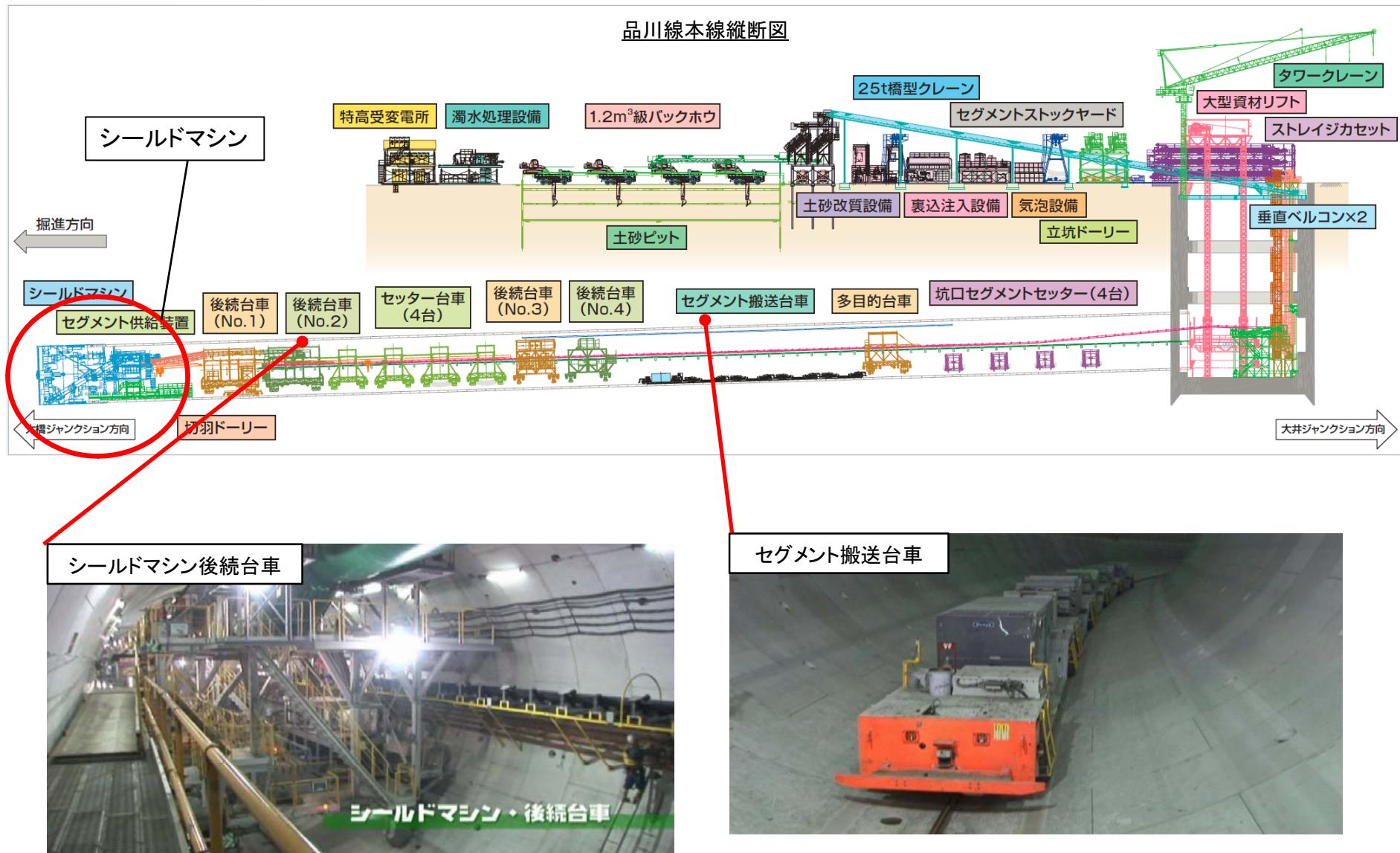
マシン前進

セグメント組立

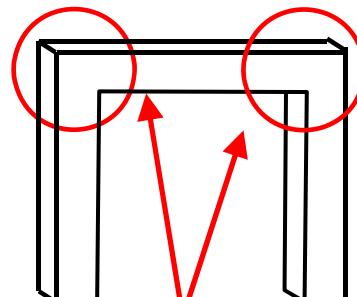
トンネル現場施設



トンネル現場施設



3号渋谷線(三軒茶屋付近)損傷補修(鋼製橋脚隅角部疲労対策)



隅角部

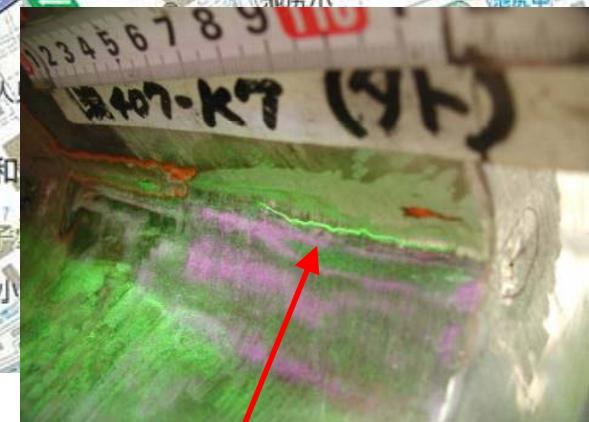
(柱と梁の交差部)



大橋ジャンクション



柱と梁の交差部(隅角部)において大型車交通量の増加により大きな力が作用し亀裂が発生

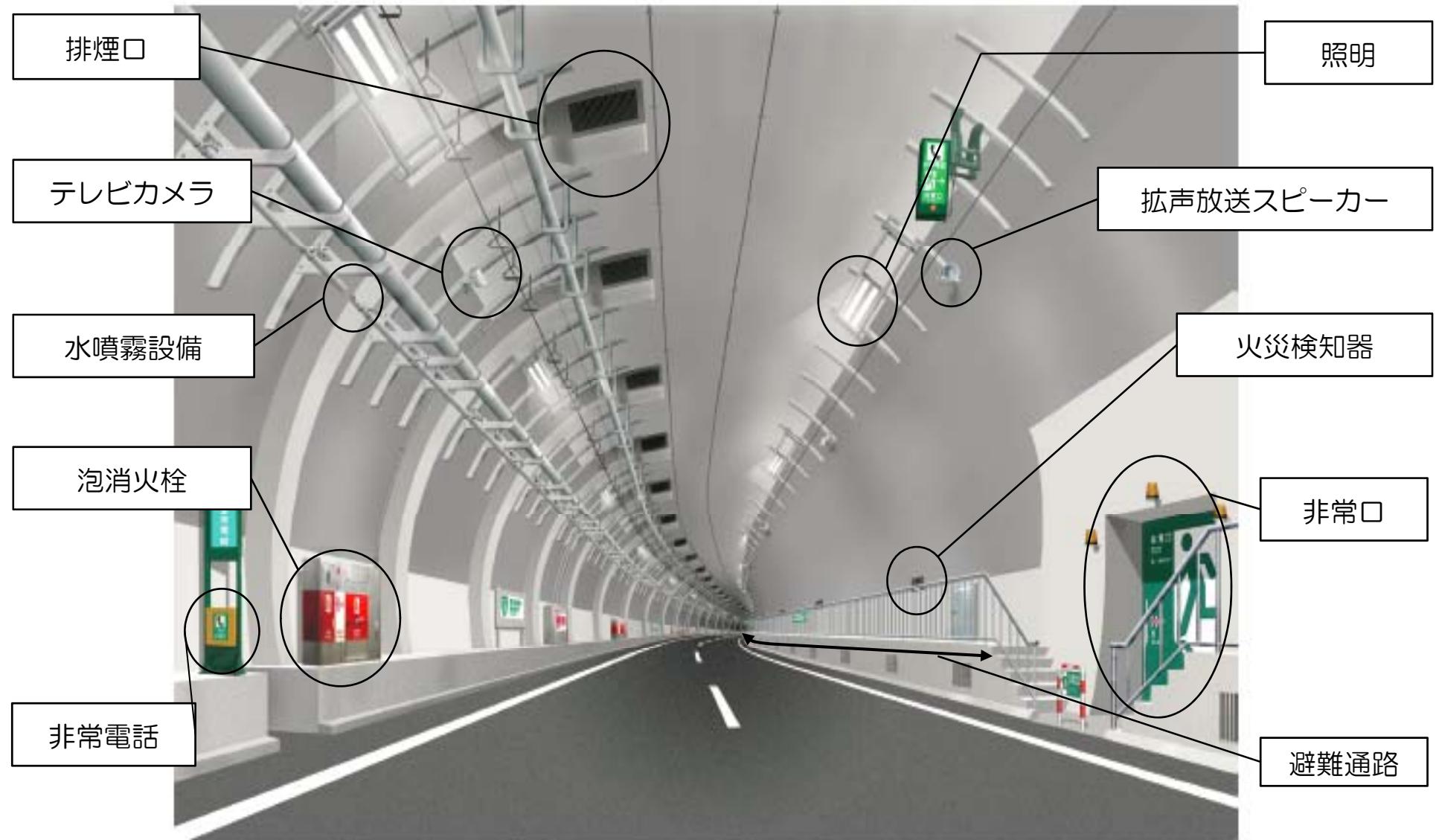


疲労亀裂

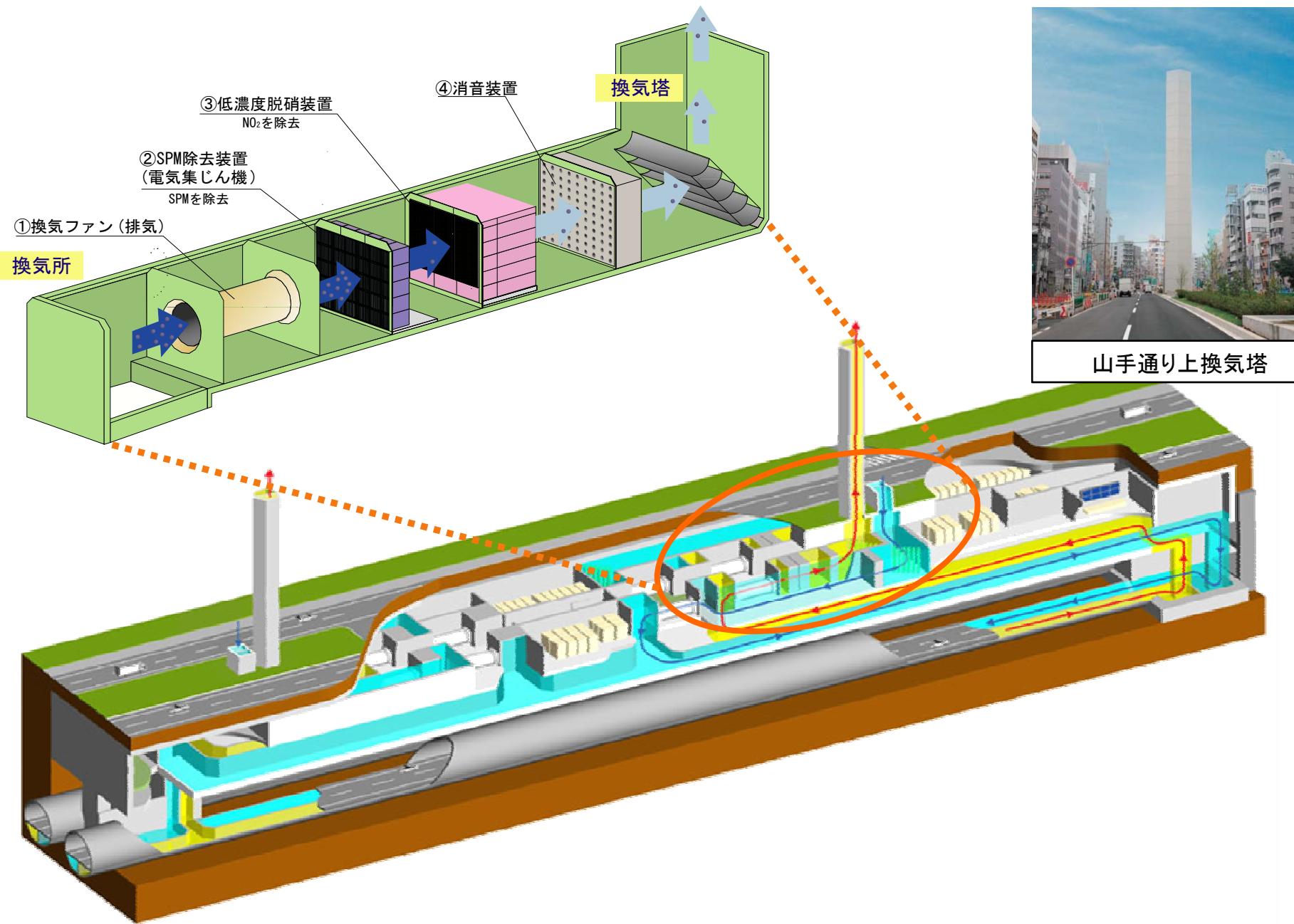


あて板による補修

トンネル防災設備



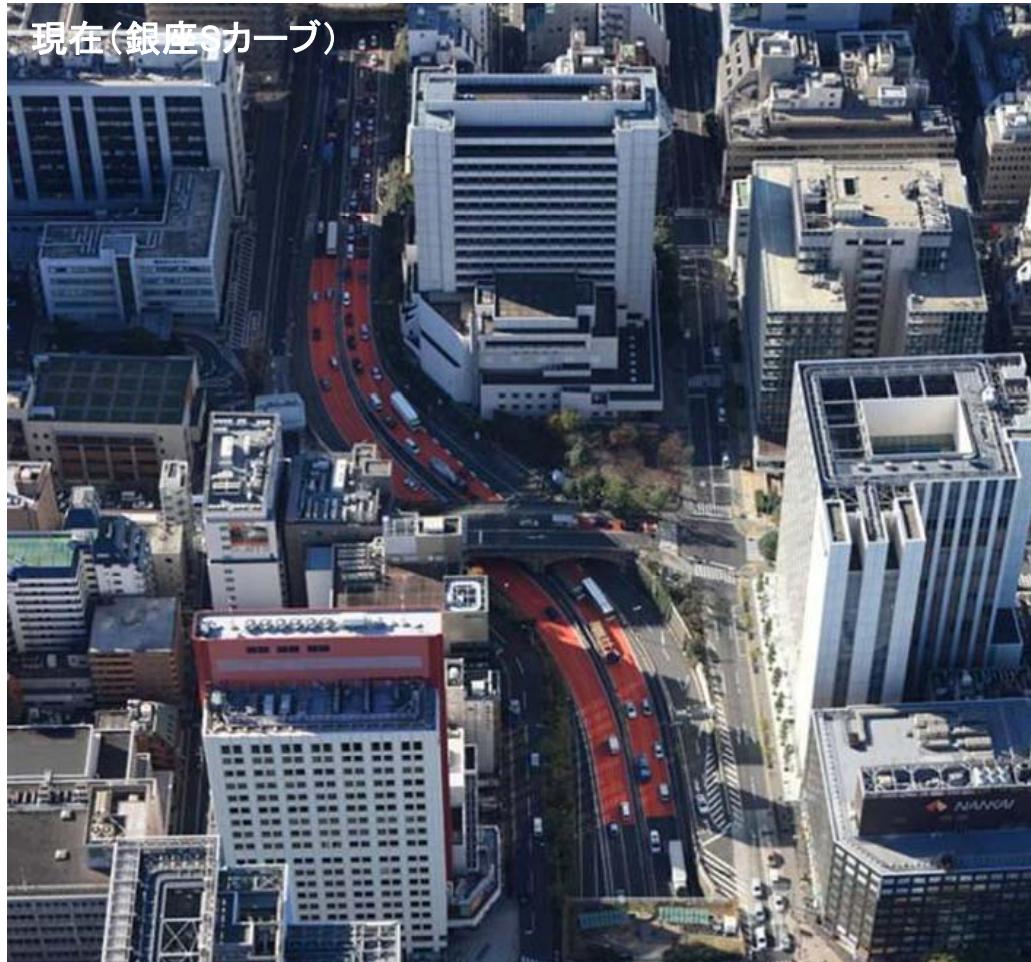
換気所の機能



都心環状線(築地川掘割部・銀座付近)

○築地川を干拓して川底に高速道路を築造している。

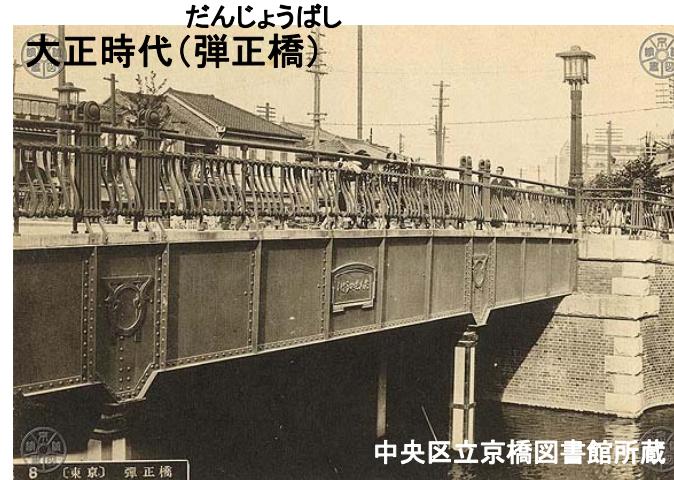
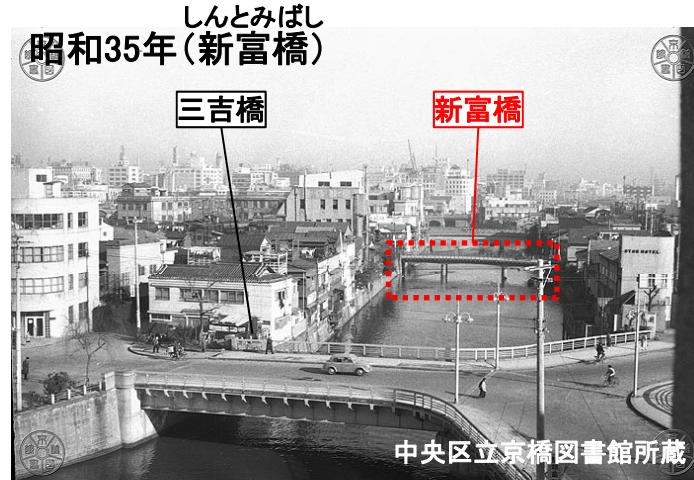
現在(銀座Sカーブ)



現在(采女橋)

都心環状線(築地川掘割部・京橋付近)

○築地川を干拓して川底に高速道路を築造している。

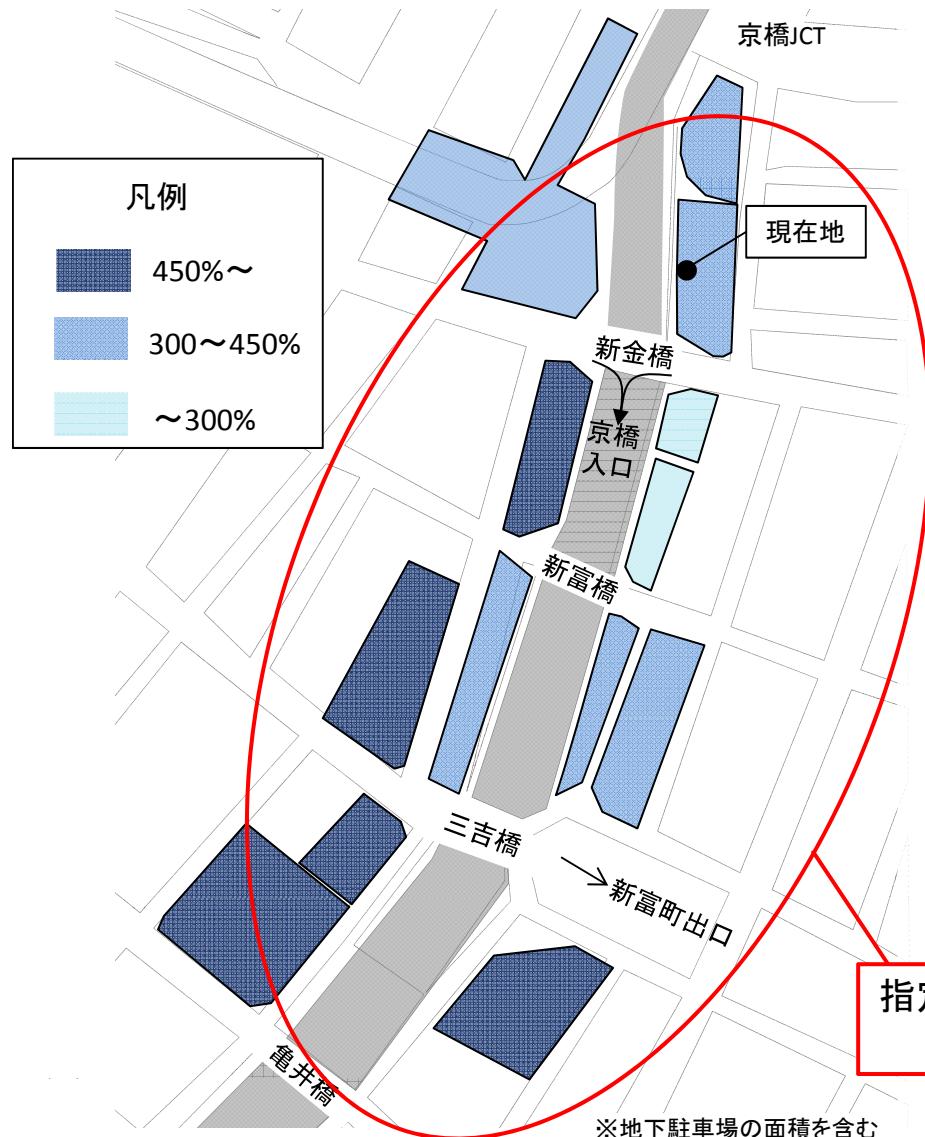


<築地川周辺図>



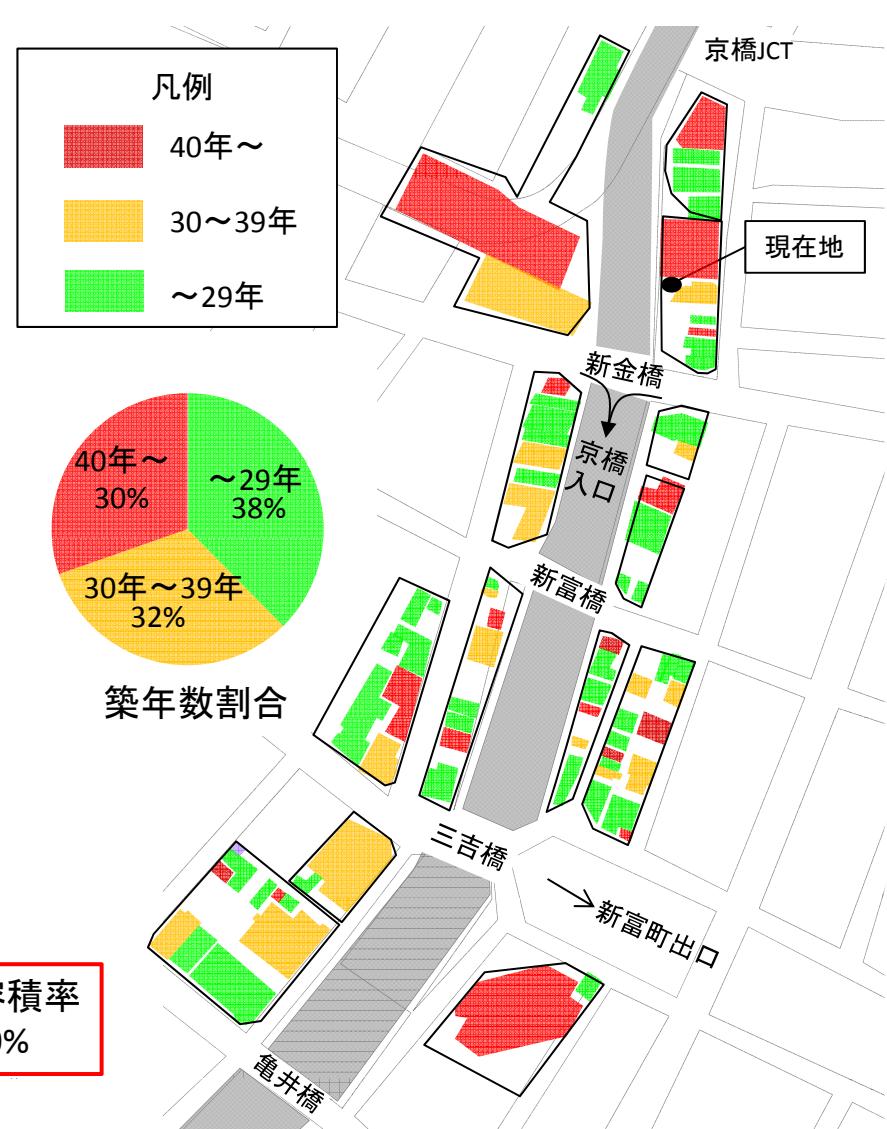
築地川周辺の容積率・築年数・用途地域

実質容積率



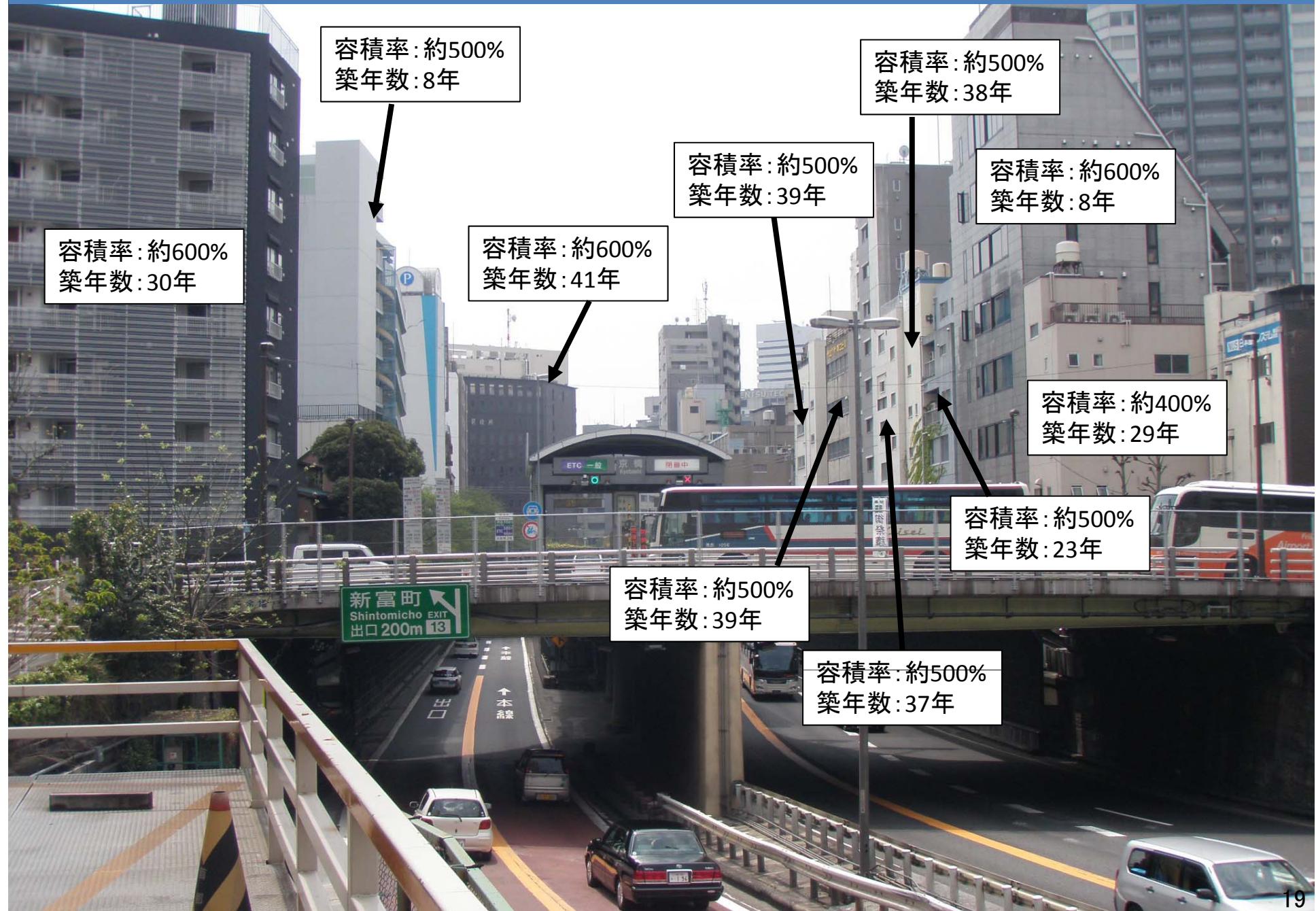
用途地域:商業地域

築年数



出典:不動産登記簿より
※国土地理院の電子国土Webシステムから配信された地図データに加筆
※平成23年3月時点

築地川周辺の容積率・築年数



首都高速の用地区分について

○首都高速の用地は、①所有権を有する土地、②地上権を有する土地、③道路・河川・公園等を使用、に区分される。

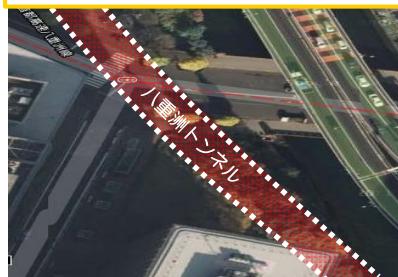
【参考事例(所有権)】

A: 銀座出入口付近



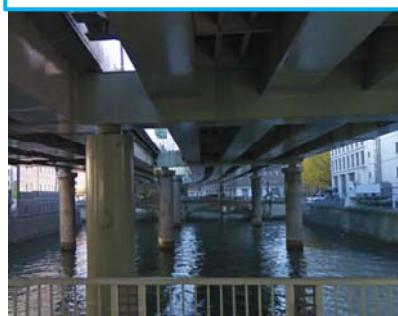
【参考事例(地上権)】

B: 八重洲線常盤橋付近



【参考事例(道路・河川・公園等を使用)】

C: 都心環状線 日本橋川

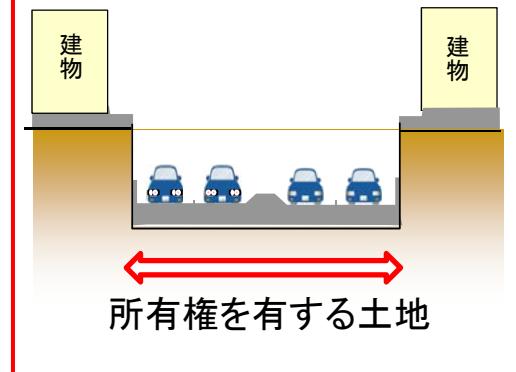


都心環状線周辺の用地区分



■ 築地川掘割り部

○ 築地川を埋め立てた土地については、①所有権を有する土地に該当



所有権を有する土地

<首都高速の用地区割合>

東京線 全体	① 所有権を 有する土地	② 地上権を 有する土地	③ 道路・河川・ 公園等の使用
100%	16%	11%	73%

都心環状線(弾正橋付近)

だんじょうばし

○弾正橋の橋脚が車線上に残る。



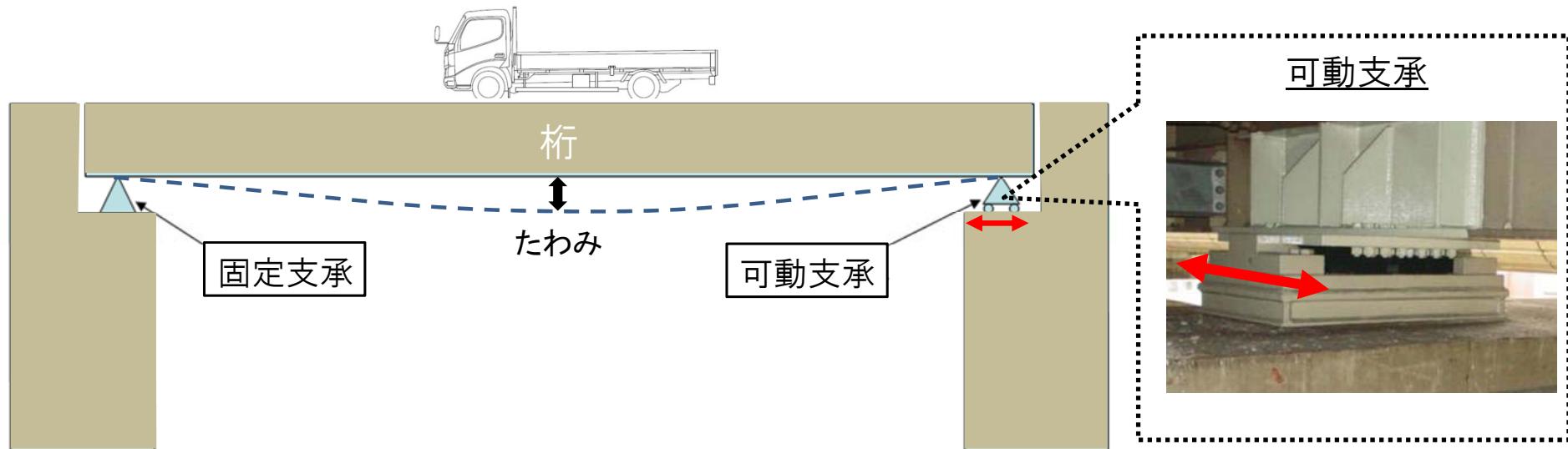
都心環状線(日本橋)

○出入口(江戸橋・呉服橋)設置のために道路の計画高を抑える必要があり、上下線を分離して中柱等との干渉を避けた。



揺れる首都高速のメカニズム

- 温度変化による桁の伸縮に対応するため、橋梁の片側は可動支承（台座）としている。
- 大型車が通過すると、桁がたわみ、上下に振動。
- 上り・下りが一体構造となっている区間で、片方向が渋滞している場合、揺れを感じやすい。



■ 上り・下りが一体構造となっている区間(3号渋谷線 渋谷～池尻付近)

